

だい ぶ かだい
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい
第16回

まいにち にゅうりょく
毎日パソコン入力コンクール

がつ たいかい
6月大会

か だい
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいこうがくねん
第5部 和文A 小学生高学年

かんりょうく
ことわざ・慣用句②

せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、小学館 例解学習ことわざ辞典 第二版より引用しました。
(文字数1,800字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりょくけんていいいんかい
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援

そうむしょう
総務省

もんぶかがくしょう
文部科学省

こうせいろうどうしょう
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく
1行32字詰で、つぎの文章を入力してください。

※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

 て と あし と
手取り足取り 
しんせつ こま おし
親切に細かく教えこむこと。 
およ しよしんしゃ て と あし と おし
泳げない初心者しよしんしゃに手取り足取りで教える。 


ひょうざん いっかく
氷山の一角 
ものごとの一部分いちぶぶんだけが外そとに現あらわれていて大部分だいぶぶんはかくれたままである
こと。 
じけん ひょうざん いっかく
この事件じけんは、ほんの氷山の一角ひょうざん いっかくにすぎない。 


あし と
揚げ足を取る 
あいて い と あ せ こま
相手の言あいていまちがいを取り上げて、責めたり困こまらせたりする。 
い と
言いいまちがいをとらえて揚げ足あしを取る。 


くち
口をそろえる 
おお ひと おな い
大ぜいの人ひとが同じこといを言う。 
くち はんたい
口をそろえて反対はんたいする。 


て しお
手塩てしおにかける 
じぶん て さいしよ み たいせつ そだ
自分の手てで、最初さいしよからめんどうを見て大切たいせつに育てる。 
てしお そだ け さ はな さ
手塩てしおにかけて育てたアサガオそだが今朝けさ花はなを咲さかせた。 


ふ
踏ふんだり蹴けったり 
かさ がさ め
重ねかさ重ねがささんめざんな目めにあうこと。 
ころ わ
転ころんでけがわをしただけでなく、めがねも割わってしまい、踏ふんだり蹴け
たりだ。 


い じ び
生き字引じびき 
ちしき ひろ なん し ひと
知識ちしきが広ひろくて何なんでもよく知しっている人ひと。ものしり。まるで字引じびきのよ
うな人ひと。 
そ ふ まち い じ び
祖父そふは、この町まちの生き字引い じ びきだ。 


みっ か ぼう ず
三日坊主みっかぼうず 
ながつづ
あきっぽくて、長なが続つづきしないこと。 
にっ き みっかぼうず ながつづ
日記にっきはいつも三日坊主みっかぼうずで、長なが続つづきしない。 



とほう く
途方に暮れる

どうしていいかわからず、困りはてる。

でんしゃ
電車のきっぷを落として途方に暮れる。

リム

ういん さ
溜飲が下がる

ふ へい ふ まん
不平や不満がなくなって、気分がせいせいする。

さいしゅうかい ぎゃくてん が
最終回で逆転勝ちして溜飲が下がる。

あか

た にん
赤の他人

かんけい ひと
まったく関係のない人。

おな みょうじ あか た にん
同じ名字だけど、赤の他人です。

はや

お さんもん とく
早起きは三文の徳

あさはや お からだ なに
朝早く起きると体にもよく、また、何かといいことがあるものである

はや

お さんもん とく はや お
早起きは三文の徳よ、早く起きなさい。

よ

ごえ たか
呼び声が高い

ひょうばん たか
評判が高い。もっぱらのうわさである。

ゆうしょうこう ほ よ ごえ たか
優勝候補の呼び声が高い。

かたみ

がせまい

はずかしく思う。引け目を感じる。

しょせん ま
初戦で負けてしまい、なんともかたみがせまい。

ね

みみ みず
寝耳に水

おも で きごと し
思いがけない出来事や知らせにおどろくこと。

じぶん さくひん とくせん
自分の作品が特選になるとは寝耳に水だ。

にっしんげっ

ほ
日進月歩

ひ つき た しん ぼ
日ごと月ごとに、絶えず進歩すること。

にっしんげっ ぼ か がく ぎじゅつ
日進月歩の科学技術。

はな

み
花も実もある

見た目が美しいだけでなく、中身も素晴らしい。また、人情がこもっている。◀

花も実もある見事な演奏。花も実もある粋なはからいに感謝する。◀

どろぼうをとらえてなわをなう◀
事件がおきてから、あわてても間に合わない。準備をしないで、行き当たりばったりですのをいましめることば。◀

どろぼうをとらえてなわをなうのではなく、ひごろから用意せよ。◀

折り紙付き◀
その物が、世の中から信用できると認められていること。保証付き。◀
この「ひまわり」は、ゴッホ本人がえがいたものと折り紙付きの絵だ

◀

胸に刻む◀
しっかり心にとどめる。心に刻む。◀

恩師の言葉を胸に刻んで卒業する。◀

◀

風の便り◀
風が運んでくるように、どこからともなく伝わってきたこと。うわさ

◀

パリで暮らしていると風の便りに聞く。◀

◀

仏造って魂入れず◀
ものは出来上がっても、いちばん大事なことがぬけていること。◀
シルバーシートがあっても席をゆずる心がなければ、仏造って魂入れずで何にもならない。◀

◀

真に受ける◀
相手の話などを、本当のことだと思い込む。本気にする。◀
もうけ話を真に受けて大損する。◀

◀

名乗りを上げる◀
競争に加わることをはっきり示す。立候補する。◀

オリンピックの開催国に名乗りを上げる。↵



水清ければ魚すまず↵

人は、行いが正しくて心がきれいであり過ぎると、かえって人に親し

まれない。↵

水清ければ魚すまずで、立派すぎてけむたがれる。↵



うり二つ↵

二人の人の顔や姿が、たいへんよく似ていること。↵

笑い顔が父にうり二つと言われる。↵



悠々自適↵

俗世間からはなれて、自分の好きなように楽しんで、静かに毎日を過

ごすこと。↵

好きな絵を描いて悠々自適に暮らす。↵



堂に入る↵

学問や技術などが、しっかり身についている。↵

堂に入った司会ぶり。↵



有終の美を飾る↵

最後までやり通して、立派な成果を上げる。終わりまで立派にやりと

げる。↵

引退試合でホームランを打って有終の美を飾る。↵



棒に振る↵

だめにしてしまう。今までの苦心をおだにする。せっかくのチャンス

を失う。↵

急病のため、修学旅行を棒に振る。↵



灯台もと暗し↵

身近なことは、案外知らないものだ。↵

さんざんさがし回っても買えなかった本を、兄が持っていたとは、灯

台もと暗しだ。↵



暑^{あつ}さ寒^{さむ}さもひがんまで

暑^{あつ}さは秋^{あき}のひがんまで、寒^{さむ}さは春^{はる}のひがんまでで、それを過^すぎると過^すごしやすくなる。

暑^{あつ}さ寒^{さむ}さもひがんまで、さあこれからは暖^{あたた}かくなるぞ。



ミイラ取^とりがミイラになる

人^{ひと}を探^{さが}しに行ったまま帰^{かえ}って来^こない。人^{ひと}を説^{せつとく}得^いに行^いって逆^{ぎゃく}に説^{せつとく}得^いされる。

呼^よびに行^いかせたら、ミイラ取^とりがミイラになっ^て、帰^{かえ}って来^こない。